

医療最前線

作業療法士ってどんなお仕事？



小泉友見 作業療法士
「生活を送る上で、仕事や遊びなど、さまざまな活動の中で、作業療法士は、治療や援助を通して、指導の手段としています。」

農作業や勉強など社会での動作
■作業療法士と理学療法士とは違うのですか？
理学療法士の名前をよく聞かれるのではないのでしょうか？ 作業療法士と理学療法士、名前は似ていますが、そのリハビリ内容は大きく異なります。
非常に簡単にいうと、理学療法は、立つ、起きる、歩くなど、基本的な体の動作のリハビリとなります。対して作業療法は、食事を、料理をする、字を書くなど、生活する上で必要不可欠な動作のリハビリとなります。

あなたが今したいと思うことを思い浮かべてください。もしも病気がなどで、それができなくなってしまうら...
食べること、寝ること、楽しむこと、何気ない動作一つをとってみても、ここからだの複雑な動きがあります。
作業療法は、障害と折り合いをつけながら、作業療法士とい

■作業療法士の「作業」とは何ですか？
「作業」という言葉からイメージされるような、何か特定の仕事・業務を指すわけではなく、創作・表現活動、陶芸や編み物など工芸や手芸での動作、感覚・運動活動、体操や風船バレーなど運動での動作、仕事・学習活動、掃除や調理など生活の中の動作、

■作業療法士の「作業」とは何ですか？
「作業」という言葉からイメージされるような、何か特定の仕事・業務を指すわけではなく、創作・表現活動、陶芸や編み物など工芸や手芸での動作、感覚・運動活動、体操や風船バレーなど運動での動作、仕事・学習活動、掃除や調理など生活の中の動作、

■作業療法士の「作業」とは何ですか？
「作業」という言葉からイメージされるような、何か特定の仕事・業務を指すわけではなく、創作・表現活動、陶芸や編み物など工芸や手芸での動作、感覚・運動活動、体操や風船バレーなど運動での動作、仕事・学習活動、掃除や調理など生活の中の動作、

【表1】

作業療法の対象となる主な疾患		
からだ	●脳血管障害(脳梗塞、脳出血、くも膜下出血など) ●高次脳機能障害 ●脳・脊髄腫瘍 ●脊髄損傷	●多発性硬化症 ●パーキンソン病 ●脊髄小脳変性症 ●末梢神経障害 ●骨折
こころ	●統合失調症 ●気分(感情)障害 ●神経症性障害 ●ストレス関連障害	●精神作用物質使用による障害(アルコール依存症など) ●器質性精神障害(認知症など) ●成人の人格および行動障害 など
発達期	●脳性麻痺 ●脳形成不全 ●小頭症 ●水頭症	●奇形症候群 ●二分脊椎 ●低酸素脳症 ●脳炎・脳症・髄膜炎
老年期	●器質性精神障害(認知症) ●脳血管障害 ●骨折	●骨関節障害 ●廃用症候群 など

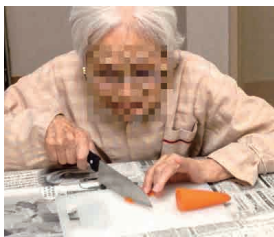
■作業療法の目標
作業療法では、基本的な運動能力から社会の中で適応する能力まで、3つの能力を維持・改善し、「その人らしい」生活の獲得を目標にします。

【表2】当院での作業療法の一例

○機能的作業療法
腕や手指の関節の動きや筋力、手指の細かい動きなどの回復を目指します。



○日常生活動作練習
できる限り身の回りの動作が自立して行えるように練習します。また、家庭での生活を考え、住宅改修や福祉機器利用の相談に応じます。一人一人の生活に合わせて練習を行います。



○心理支援的作業療法
気晴らしや生活意欲の向上、認知症予防または進行防止のために行います。折り紙や計算問題、塗り絵や歌、将棋や花札など患者さんの好みに合わせて行います。



○基本動作能力：運動や感覚・知覚、心肺や精神・認知などの心身の状態
「その人のからだ」と「その人の状態」を考えた環境を考えた上で、その人が笑顔になれるように、今とこれから豊かな生活づくりを支援します。